# スポーツ・文化・観光施策についての提言（新旧対照表）（参考資料）

| 平成３０年度提言（案）［各県意見を踏まえた案］ | 平成２９年提言 | 備考欄 |
|---|---|---|
| 前文 | 前文 | |
| スポーツや文化は、人に夢や感動を与え、地域への誇りと愛着を高める。地方には、充実したスポーツ環境、豊かな芸術文化、伝統文化や文化財、そしてそれらを守り育む人の絆といった、あまたの「宝」が存在する。 | スポーツや文化は、人に夢や感動を与え、地域への誇りと愛着を高める。地方には、充実したスポーツ環境、豊かな芸術文化、伝統文化や文化財、そしてそれらを守り育む人の絆といった、あまたの「宝」が存在する。 | |
| 観光もまた、癒やしや感動、知識・見聞を与え、地域に人を呼び込む。観光関連産業は、他産業に広く影響を及ぼす地域経済の主要な担い手であり、地方創生・日本成長の切り札である。 | 観光もまた、癒やしや感動、知識・見聞を与え、地域に人を呼び込む。観光関連産業は、他産業に広く影響を及ぼす地域経済の主要な担い手であり、地方創生・日本成長の切り札である。 | |
| 昨年には、訪日外国人旅行者が 2,000 万人を超えた。国においても、スポーツ・文化・観光の融合を象徴する東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会やその後を見据えた、スポーツの成長産業化や文化芸術資源を活用したまちづくり、ソフト・ハード両面での観光客受入環境の整備などの施策が次々と打ち出されており、こうした対応を評価するとともに、地方においても、2020 年に向けて取組を加速していきたい。 | | （追加）<br>・平成 29 年度の状況を追加 |
| 一方で、本格的な人口減少社会を迎え、地方は、少子高齢化の進行や若者の流出など、厳しい現実に直面している。また、東日本大震災や熊本地震からの復興の取り組みが続いている中にあっては、それぞれが持つ「宝」を磨き、スポーツ・文化・観光の「人と人、心と心を結ぶ力」を最大限に生かしながら、互いの連携のもと、世界の活力を取り込み、個性と魅力にあふれた地域をつくり、未来を切り拓いていかねばならない。 | 本格的な人口減少社会を迎え、地方は、少子高齢化の進行や若者の流出など、厳しい現実に直面しているが、持てる「宝」を磨き、スポーツ・文化・観光の力を生かし、さらにこれらの力を融合させた地方創生の動きを加速しようとしている。<br><br>このような中、この３月には、スポーツ庁、文化庁、観光庁が包括連携協定を締結し、スポーツ・文化の資源融合による観光地域の | （変更）<br>（削除）<br>・平成 29 年度の状況を追加 |

# スポーツ・文化・観光施策についての提言（新旧対照表）（参考資料）

| 平成３０年度提言（案）［各県意見を踏まえた案］ | 平成２９年提言 | 備考欄 |
|---|---|---|
| | 魅力向上等に取り組み始めており、また、６月には「日本再興戦略2016」や「ニッポン一億総活躍プラン」において「スポーツの成長産業化」や「観光の基幹産業化」を打ち出したところである。<br><br>地方は、今こそ立ち上がり、スポーツ・文化・観光の「人と人、心と心を結ぶ力」のもと互いに連携し、世界の活力を取り込み、未来を切り拓いていく覚悟である。 | （削除）<br>・２パラ前に統合 |
| また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のみならず、今後数年の内に、ラグビーワールドカップ2019™、ワールドマスターズゲームズ2021関西など大規模な国際大会が開催される。地方も、開催に向けた気運を一層盛り上げ、大会の成功に貢献し、その効果を全国津々浦々に波及させるとともに、大会後もこうした地域のスポーツ・文化・観光資源を活用した取組を継続的に展開し、地方創生の実現へと繋げていくことを強く望んでいる。<br><br>ついては、国においても、こうした地方の実情と取組を踏まえ、次の事項を講じるよう強く要請する。 | また、今後数年の内に、スポーツ・文化・観光の融合を象徴する東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ2019、関西ワールドマスターズゲームズ2021など大規模な国際大会が開催される。地方も、開催に向けた気運を一層盛り上げ、大会の成功に貢献し、その効果を全国津々浦々に波及させるとともに、大会後もこうした地域のスポーツ・文化・観光資源を活用した取組を継続的に展開し、地方創生の実現へと繋げていくことを強く望んでいる。<br><br>ついては、国においても、こうした地方の実情と取組を踏まえ、次の事項を講じるよう強く要請する。 | （変更） |

# スポーツ・文化・観光施策についての提言（新旧対照表）（参考資料）

| 平成３０年度提言（案）［各県意見を踏まえた案］ | 平成２９年提言 | 備考欄 |
|---|---|---|
| １　東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催効果の全国への波及 | １　東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催効果の全国への波及 | |
| (1) 地方が国際大会に貢献するための取組支援 | (1) 追加種目の地方開催等、地方が国際大会に貢献するための取組支援 | （削除） |
| 地方における選手強化の取組、事前キャンプの誘致、指導者やボランティア等を含めた人材育成、障害者スポーツの推進などに対して支援を行うとともに、大会後もそのレガシー（遺産）が国内全域に広がるよう、継続的な支援を講じること。 | 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の追加競技・種目に提案した５競技１８種目については、震災被災地をはじめ地方での開催を検討すること。 | （削除） |
| また、聖火リレーについては、全ての都道府県が参加できるものにするとともに、ルートの選定やランナーの人選などにあたっては、地域の意向を十分に尊重すること。 | また、地方における選手強化の取組、事前キャンプの誘致、指導者やボランティアを含めた人材育成、障害者スポーツの推進などに対して支援を行うとともに、大会の成功に向けた国民的気運の醸成のため、全国の都道府県が参加できる聖火リレーの実現について検討すること。 | （削除・変更）<br>・組織委の動きを反映 |
| さらに、聖火リレーと同時に各地で文化プログラムを展開し、開会式セレモニーと一体となって、多様性に富んだ我が国の文化を一体的に発信とする場となるよう十分配慮するとともに、これらの地方の取組を一体的に支援すること。 | さらに、大会後もそのレガシー（遺産）が国内全域に広がるよう、継続的な支援を講じること。 | （追加） |
| (2) 文化プログラムの成功に向けた取組支援 | (2) 文化プログラムの成功に向けた取組支援 | |
| 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムに向けては、新たな宝くじの発行など一定の支援の充実が図られたところである。 | 今年１０月に開催される「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」に向け、本フォーラムの開催及びその趣旨を幅広く周知し理解を得るとともに、公式サイドイベントの　充実等を図ること。 | （削除）<br>（追加）<br>・28 要望の成果を記載 |
| その実施に当たっては、今後も地域の核となる文化施設の活性化を図るとともに、国際的な芸術祭の開催や若者を中心とした新たな文化創造、障害者の芸術文化の振興、地域に根差した特有の文化の振興、国民文化祭の新たな展開など、地方における文化芸術活動へ | また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムにおいては、地域の核となる文化施設の活性化を図るとともに、国際的な芸術祭の開催や若者を中心とした新たな文化創造、障害者の芸術文化の振興、地域に根差した特有の文化の振興、国民 | |

# スポーツ・文化・観光施策についての提言（新旧対照表）（参考資料）

| 平成３０年度提言（案）［各県意見を踏まえた案］ | 平成２９年提言 | 備考欄 |
|---|---|---|
| の支援の充実・強化を図ること。<br>また、文化プログラムへの取組を一過性のイベントとしないよう、2020 年以降にその成果を生かすことができるプログラム等に対する重点的支援を検討すること。 | 文化祭の新たな展開など、地方における文化芸術活動の取組に対する支援の充実・強化を図ること。<br>さらに、文化プログラムへの取組を一過性のイベントとしないよう、2020 年以降にその成果を生かすことができるプログラム等に対する重点的支援を検討すること。 | |
| (3) 大会における多様な日本文化・地方文化等のアピール | (3) 大会における多様な日本文化・地方文化等のアピール | |
| 文化プログラムや大会開会式等において、和文化の象徴的存在である「きもの」や生け花・盆栽、地域の祭り、神楽やアイヌ古式舞踊などの伝統芸能をはじめとする国指定重要無形民俗文化財など、日本の伝統文化を発信する場を創設すること。<br>特に各地に残されている神話・伝承・歴史的文化財について、我が国の発祥や東日本大震災や熊本地震等からの復興を世界にアピールする観点から、開会式セレモニー等に採用すること。<br>また、選手村をはじめとするオリンピック関連施設に、国産材によるＣＬＴや製材品等の木質素材を率先して利用し、日本が誇る「木の文化」を全世界にアピールするとともに、施設で提供される食材について、広く全国の農林水産物が使用されるよう、ＧＡＰ等の取得促進に向けた各地の取組を継続的に支援すること。 | 文化プログラムや大会開会式等において、和文化の象徴的存在である「きもの」や、地域の祭り、神楽やアイヌ古式舞踊などの伝統芸能をはじめとする国指定重要無形民俗文化財など、日本の伝統文化を発信する場を創設すること。<br>特に各地に残されている神話・伝承・歴史的文化財について、我が国の発祥や東日本大震災等からの復興を世界にアピールする観点から、開会式セレモニー等に採用すること。<br>また、選手村をはじめとするオリンピック関連施設に、ＣＬＴ等の木質素材を率先して利用し、日本が誇る「木の文化」を全世界にアピールするとともに、施設で提供される食材については、安心・安全はもとより、広く全国の農林水産物が使用される基準を採用すること。 | （変更）<br>・食材の調達基準が示されたこと。認証が遅れていること。 |
| (4)「ラグビーワールドカップ 2019™」及び「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」などの開催に対する支援 | (4)「ラグビーワールドカップ 2019」及び「関西ワールドマスターズゲームズ 2021」の開催に対する支援 | （変更）<br>・一部文言修正、再編 |
| 集客効果による地域経済の活性化に加え、地域文化の活性化、国際交流等に寄与する「ラグビーワールドカップ 2019™」、「ワールド | 集客効果による地域経済の活性化に加え、地域文化の活性化、国際交流等に寄与する「ラグビーワールドカップ 2019」の開催を支援 | |

# スポーツ・文化・観光施策についての提言（新旧対照表）（参考資料）

| 平成３０年度提言（案）［各県意見を踏まえた案］ | 平成２９年提言 | 備考欄 |
|---|---|---|
| マスターズゲームズ 2021 関西」、その他の各種国際競技大会等の開催を支援するとともに、国民のスポーツへの関心を高め、地域活性化にも資する事前合宿等を円滑に招致できるよう、地方公共団体への積極的な情報提供を行うこと。<br>また、開催に向けて、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会との相乗効果を高める積極的な広報活動の展開など、国内外で気運醸成や、これを契機とした生涯スポーツの振興に向けた取組を推進すること。 | するとともに、国民のスポーツへの関心を高め、地域活性化にも資する事前合宿等を円滑に招致できるよう、地方公共団体への積極的な情報提供を行うこと。<br>「関西ワールドマスターズゲームズ 2021」開催に向け東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会との相乗効果を高める積極的な広報活動の展開など、国内外で気運醸成や、これを契機とした生涯スポーツの振興に向けた取組を推進すること。 | |
| **(5) 訪日外国人旅行者を全国各地へと誘導する施策の実施**<br><br>東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を、外国人観光客の全国各地への誘導、地域経済活性化に寄与する好機と捉え、大会開催及びその前後の期間を対象とし、低廉な陸・海・空の周遊フリーパスを創設するなど、「訪日外国人旅行者を全国各地へと誘導する施策」について積極的に講じること。 | **(5) 訪日外国人旅行者を全国各地へと誘導する施策の実施**<br><br>東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を、外国人観光客の全国各地への誘導、地域経済活性化に寄与する好機と捉え、大会開催及びその前後の期間を対象とし、低廉な陸・海・空の周遊フリーパスを創設するなど、「訪日外国人旅行者を全国各地へと誘導する施策」について積極的に講じること。 | （変更なし） |

# スポーツ・文化・観光施策についての提言（新旧対照表）（参考資料）

| 平成３０年度提言（案）［各県意見を踏まえた案］ | 平成２９年提言 | 備考欄 |
|---|---|---|
| ２　スポーツ・文化を生かしたまちづくりの推進 | ２　スポーツ・文化を生かしたまちづくりの推進 | |
| (1) トップアスリート・アーティストの育成・強化 | (1) トップアスリート・アーティストの育成・強化 | （変更なし） |
| 世界レベルのアスリートやアーティストの育成・強化については、競技や分野の特性を踏まえ、官民の適切な役割分担のもと、必要な施設整備も含めて国が前面に立って行うこと。その際、選手・芸術家の育成環境については、地域の資源を生かす視点から検討するとともに、選手・芸術家の目線に立ち、心身を癒やしながらトレーニングや芸術活動に集中できる環境となるよう十分考慮すること。<br>また、次世代を牽引する人材の発掘・育成のために地方が実施する各種取組への支援を強化すること。 | 世界レベルのアスリートやアーティストの育成・強化については、競技や分野の特性を踏まえ、官民の適切な役割分担のもと、必要な施設整備も含めて国が前面に立って行うこと。その際、選手・芸術家の育成環境については、地域の資源を生かす視点から検討するとともに、選手・芸術家の目線に立ち、心身を癒やしながらトレーニングや芸術活動に集中できる環境となるよう十分考慮すること。<br>また、次世代を牽引する人材の発掘・育成のために地方が実施する各種取組への支援を強化すること。 | |
| (2) 基盤施設整備に対する支援の充実 | (2) 基盤施設整備に対する支援の充実 | |
| 公立スポーツ・文化施設の長寿命化や立地適正化については、地方債措置の充実が図られたところであるが、地域のスポーツ・文化振興の中核となる基盤施設整備については、財政支援制度を一層充実させるとともに、既存制度の弾力的な運用を図ること。<br>また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で整備された競技用具の国体等における活用について配慮すること。 | 高度経済成長期に整備した公立スポーツ・文化施設が老朽化し、建替に関する需要が高まっていることから、スポーツ・文化の振興のため、地方が実情に応じて実施する、公立スポーツ・文化施設の機能向上や建替等を図ることができるよう、特別な地方債の発行とその元利償還金に対する交付税措置など、新たな財政支援制度を創設するとともに、既存制度の弾力的な運用を図ること。<br>また、地方が文化資源を最大限に生かした主体的な文化プログラムに取り組めるよう、宝くじを活用した新たな財源の確保などについて検討すること。<br>このほか、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で整 | （変更・削除）<br>・28 要望の成果を記載。宝くじは対応済みにつき削除。 |